



2022年5月12日

各 位

会社名 デリカフーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大崎 善保
(コード番号 3392 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理本部長 仲山 紺之
(TEL. 03-3858-1037)

業績予想と実績値との差異及び特別損失等の計上に関するお知らせ

2022年3月11日に公表しました2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想と本日公表の実績値におきまして、差異が生じたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会にて下記の通り特別利益、特別損失、法人税等調整額を計上することを決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想と実績との差異(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	38,500	△450	△300	△525	△35円56銭
今回発表実績 (B)	39,788	△397	△242	△746	△50円57銭
増減額(B-A)	1,288	52	57	△221	-
増減率(%)	3.3	-	-	-	-
(参考)前期実績 (2021年3月期)	31,725	△1,467	△1,031	△953	△64円59銭

2. 業績予想と実績に差異が生じた理由

当連結会計年度の売上高、営業利益、経常利益につきましては、3月のまん延防止等重点措置解除後の業績回復で想定を上回る一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、未だ不透明な新型コロナウイルス感染症の影響を保守的に見込み、将来キャッシュフローを一層精緻に精査したことによる資産価値見直し及び税効果会計処理に関する見直し等により差異が発生したものです。引き続き、適時適切に会計処理を徹底し、透明性の高い開示に努めてまいります。

3. 特別損失等の計上について

- ①特別利益については、愛知事業所における冷凍工場の建設に係り補助金(農林水産省より2022年4月20日確定通知受領)を受領したことにより補助金収入168百万円を計上しました。
- ②特別損失については、上記の補助金受領にともない固定資産圧縮損168百万円、連結子会社において固定資産を評価減したこと等により減損損失175百万円を計上することといたしました。
- ③連結子会社において繰延税金資産の取崩および繰延税金負債の計上をしたことより法人税等調整額223百万円を計上することといたしました。

4. 業績に与える影響

上記の特別損失及び特別利益につきましては、本日公表しました2022年3月期決算短信[日本基準](連結)に反映しております。

なお、詳細は本日発表の 2022 年 3 月期決算短信〔日本基準〕（連結）の（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書をご参照ください。

以 上